

## 教育・学修支援としての図書館サービスをデザインする “アクティブラーナー”を育てる情報リテラシー教育

講師（ファシリテーター） 野末 俊比古

1. はじめに — “図書館” から “学びの場” へ—
2. 教育・学修支援はなぜ必要か — 教育の質保証と学修資源としての図書館—
3. 教育・学修支援をどうデザインするか — ニーズ把握から体系表づくりまで—
4. アクティブラーニングはなぜ重要か — 情報リテラシー教育における指導法として—
5. おわりに — “アクティブラーナー” の育成—

### 講師紹介

野末俊比古（のずえ・としひこ）……青山学院大学教育人間科学部准教授。学術情報センター助手，文部省社会教育官，青山学院大学文学部専任講師・助（准）教授，国立情報学研究所客員助（准）教授などを経て，現職。2010 年から 2011 年にかけて，英国シェフィールド大学情報学大学院に客員准教授（visiting lecturer）として滞在。現在，日本教育情報学会評議員，日本図書館協会図書館利用教育委員会委員長，調布市図書館協議会委員長なども務める。著書に、『変わりゆく大学図書館』（勁草書房，分担執筆，2005），『情報 A（高校検定教科書）』（教育出版，分担執筆，2007），『情報の達人』（下記参照），『専門資料論』（新訂版，日本図書館協会，共編著，2010），『情報リテラシー教育の実践：すべての図書館で利用教育を』（日本図書館協会，分担執筆・編集担当，2010），『問いをつくるスパイラル：考えることから探究学習をはじめよう！』（日本図書館協，監修，2011），『情報資源の組織化と提供』（東京大学出版会，分担執筆，2013），『新しい時代の図書館情報学』（有斐閣，分担執筆，2013）など。専門分野は教育情報学・図書館情報学，関心領域は情報リテラシー教育（学び方の学び方）。1997 年，東京大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。1968 年，静岡県浜松市（旧引佐町）生まれ。E-mail: tnozue@ephs.aoyama.ac.jp

### 参考文献（選択的に挙げる）

- ・ エリザベス・パークレイほか『協同学習の技法』安永悟監訳，ナカニシヤ出版，2009
- ・ 井田浩之『『知識創造型』の情報リテラシー教育の構築に向けて』『情報の科学と技術』64(1), 2014.1, 8-14
- ・ 三浦逸雄・斎藤泰則・宮部頼子・野末俊比古『大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能：日米実態調査の結果と分析』東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室，2005
- ・ ——『大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能：アンケート調査結果』東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室，2002
- ・ 溝上慎一『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂，2014
- ・ 中井俊樹編著『アクティブラーニング』玉川大学出版部，2015
- ・ 仁上幸治・野末俊比古監修『情報の達人』（DVD+テキスト），全 3 巻，紀伊國屋書店，2007
- ・ 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践：すべての図書館で利用教育を』日本図書館協会，2010
- ・ ——『図書館利用教育ガイドライン合冊版：図書館における情報リテラシー支援サービスのために』日本図書館協会，2001
- ・ 拙稿「情報リテラシー教育の『これまで』と『これから』：図書館におけるいくつかの論点」『情報の科学と技術』64(1), 2014.1, 2-7

ワークシート

所属 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_